

三条別院のご案内

三条別院に想う

▲今回は九月の彼岸会で精進カレーをお願いした、酒場カントツのマスターに執筆していただきました。関本氏はYOU TUBEチャンネル「燕三条TV」等、多方面で活躍されていて、三条別院への想いをお聞きました。

酒場カントツから三条別院に想う

生まれも育ちも本寺小路だったもので歩いて通えるから松葉幼稚園に通っていました

遊び場はとなると、大抵、別院だった記憶があります。

かくれんぼ、たか鬼、缶蹴りと、昭和な遊びをしたものです。

少し大きくなると、御坊様の夜店でデートしたり、ツツパリな人にカツアゲされそうになった思い出も、あったりする。

そんな自分が、最近、三条別院さんへ仕出しをする機会が増えてきている。

精進弁当を作った事がキツカケで古典な精進からスパイスカレーなど様々な精進料理をお届けしてきました。

真宗大谷派三条別院

TEL : 0256-33-0007

Email : sanjo-betsuin@wing.ocn.ne.jp

板前修業時代も、ガチガチの精進料理は作っていなかったの、一から勉強しながらの、楽しい仕事になっています。

子供の頃から勉強が嫌いで、歴史なんて、勿の論、教科書も開かなかったがオッサンになるにつれて

「昔は今より新しい」と、気づき、事あるごとに、昔を調べるようになり

親鸞聖人も、ちよつとネットで調べてみるとなかなか波乱万丈でアナキーな人生だなーなんて思った時もあったり。

昔の料理を調べると

「煎り酒」なる、昔ながらの調味料だったり

「すり流し豆腐」の様に、

当時人気の有った料理や

「麩の焼き」なるデザートなど、、、

調べれば調べるほどワクワクする料理がでてきて

自分で作り、食べ、

当時を思い描いて楽しんでいきます。

個人的な考えですが

料理も文化も政治や争いごとなど

歴史を振り返ると、案外答えが出やすいのでは？と思う今日この頃です。

「昔は今より新しい」を胸にこの街のこと、料理のこと、自身の商売のことなどを昔を紐解き、楽しく生きていきたいものです。

関本 秀次郎 氏

(酒場カントツ店主)



秋 彼 岸 会 報 告

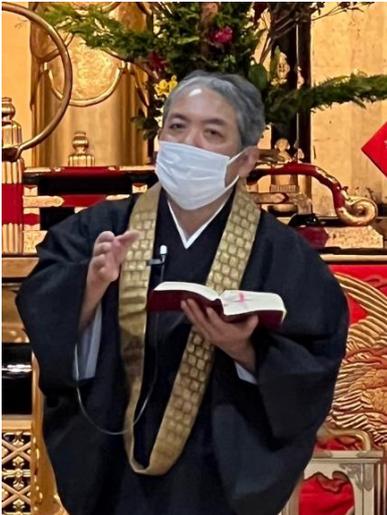


【秋彼岸の精進カレーをおかわりする参詣者】

○次回の「三条別院に想つ」は、
古侯 禪子氏（第十七組 妙音寺門徒
より）執筆いただきます

▲次号は新しく別院教化審議委員会委員に就任していただいた
小俣氏に依頼しました。

九月二十四日から二十六日まで、三条別院秋彼岸会が勤修されました。法話講師は次の通りです。二十四日人生講座 関 彩子氏（第二組 組樂蓮寺）、速夜法要 菊池 政和氏（九州教区 江善寺）。二十五日人生講座 藤田 恵日氏（第十八組 福泉寺）、日中法要（永代経総経・速夜法要 ひきつづき 菊池 政和氏。二十六日人生講座 小泉 惇磨氏（第十四組 了元寺）、日中法要 ひきつづき 菊池 政和氏。朝の人生講座のテーマは「であい」でした。また、三日間通して熊本県より菊池先生にお話いただき、「迷っている人はどんづまりまで迷っていることに気づかない」等、聴衆に語りかけながら法話されました。二十五日のお齋はカンテツの精進カレーでした。早朝の講座は近隣の方にも多く参詣いただいているため、十一月の御取り越しの晨朝には、鍋木智子氏（真宗学院卒業生）、木村仁氏（教化センター修了生）、池田陽氏（教学研究会）からそれぞれ法話をいただき、朝食としてパンを配布する予定です。



【菊池政和氏】



【小泉惇磨氏】



【藤田恵日氏】



【関彩子氏】

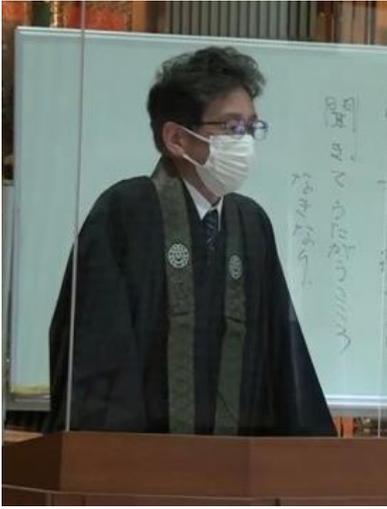
**宗祖御誕生八百五十年立教開宗八百年
慶讃定例法話会を九月から再開**

毎月十三日の闡如上人のご命日の定例法話会を宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃お待ち受け事業として九月より再開いたしました。

南無阿弥陀仏

人と生まれたことの意味をたずねていこう

十月の講師は水嶋 聡氏（高田教区第一組光徳寺住職、）でした。慶讃テーマ「南無阿弥陀仏人と生まれたことの意味をたずねていこう」を課題とされ、「赤い実のなる木に赤い実がなった木の満足」という言葉を紹介されお話を始められました。聖典で「人」はどのように受け止められているかを確かめられながら、「人として生まれてきたことの意味」について考える時間となりました。法話の後に、旧御堂で座談会も行われました。



【水嶋 聡氏】

◆十一月の講師

富沢 慶栄氏（第二十一組超願寺）

◆日 時 十一月十三日（日）

午後一時三十分より

午後四時三十分

（勤行、感話、座談あり）



【富沢 慶栄氏】

◆今後の講師

十二月 平等 良香氏（福井教区徳永寺）

二〇二三年

二月 田澤 一明氏（第十九組明誓寺）

三月 渡邊 学氏（第二十三組明正寺）

四月 黒田 進氏（長浜教区満立寺）

五月 井上 円氏（高田教区浄泉寺）

六月 藤場 芳子氏（金沢教区常讃寺）

お取り越し迫る 秋の別院奉仕研修

秋の奉仕研修（お磨き・庭清掃）が十月十二日（水）、十七日（月）、十九日（水）午前九時から午後二時まで行われ、併せて庭講の活動を行いました。外作業は少人数でしたが、落ち葉掃きを中心に行いました。全三回の奉仕研修も終わり、お取り越し報恩講に向けての準備が着々とすすんでいます。十一月五日から八日まで、六日初日中から八日結願日中までは信教院鍵役の御参修が決定しております。皆様も、ぜひお参りいただければありがたいです。



【彫の細かい鶴亀も丁寧にのみがき】

宗祖御命日のつどい

宗祖親鸞聖人の御命日であります毎月二十八日に「御命日のつどい」を本堂にて、日中法要と法話、その後、座談会の場を開いております。どなたでもお参りいただけます。皆様のご参詣をお待ち申し上げます。

なお、前日(二十七日)はお逮夜法要を、午後一時三十分よりお勤めしております。

◇日時 十一月二十八日(月) 午前十時より

◇会場 三条別院 本堂

◇お勤め(御命日 日中法要)

正信偈 真四句目下

念仏讃 洵五

和讃 回口 次第六首

回 向 願以此功德

◎今月の法話講師

十一月 倉井光弥氏(第十一組養泉寺)

御文五帖目 二十一通

「当流安心・経釈明文」

▲本年も身近な御聖教である『御文』五帖目について継続して、聞いていきます。

◆今後の講師一覧

十二月 北島 栄誠氏(第十一組 長福寺)

フードバンクを継続中

―九月の別院でのフードドライブにご協力いただいた御寺院・御門徒―

第二十組誓慶寺門徒、第二十二組浄章寺

その他匿名含め多くの方々に協力いただき御礼申し上げます。次回引き取り予定日は十一月二十四日(木)です。

声明教室のご案内

◇開催日

八月二十三日(火) ※夜の部のみ(済)

九月十二日(月)(済)・十月十七日(月)(済)

十一月十四日(月)・十二月十三日(火)(舎画)

◇昼の部：三時～五時 ◇夜の部：六時～八時

◇講師

昼の部：三条別院 列座

夜の部：長田 浄見氏(第十六組 善興寺)

◇講習内容

昼の部：正信偈 草四句目下(赤本の内容)

夜の部：浄土和讃 繰読み(声明集の内容)

その他の講座案内

○別院書道教室(生徒募集中！)

(月二回第一、第四水曜日、午後六時三十分～八時)

講師 木原光威氏(新潟県書道協会理事)

月謝 三,二〇〇円(テキスト代含む)

随時募集中

○有志の会庭講「毎月十三日」

ご一緒に別院のお庭を整備していきませんか？

○有志の金花講

花講は別院の立花を、有志の会は別院行事に併せた奉仕活動や季節ごとの懇親会を行っております。

○三条別院巡回

三条別院から御本尊(絵像)をお迎えして、開法会を開催しませんか？

○別院奉仕研修について

半日の奉仕研修等にも対応しております。

◆◆編集後記◆◆

この編集後記を書いております現在、十月二十日。草木は紅葉を迎え、美しくその姿を変え、秋の虫たちも、夜風に秋の演奏をしています。「秋の深まり」を感じる時節です。四季の中で、秋だけが「深まる」と表現されます。他の季節は、「深まる」とは言いません。唯一、秋だけが、何かに深まる。移り変わる「秋の深まり」を感じて、何か、もの思いにふける人は多いと思います。

「一体、秋は、何に深まるのか？」。人によってそれは様々であると思いますが、私は「自分」であるように思います。深まるものは、他者との関係性や物質的な外部のものではなく、自分という自己の精神性、内部性のような気がします。

日常生活の中でしばしば用いられる二項対立、例えば過去と未来、成功と失敗、勝ち組と負け組など、これらはわかりやすい様相を示しますが、難しいものを難しいまま引き受けられない自分の有様とも言えます。

秋は、そんな日常生活の中で、少し立ち止まり重層的に、自己を見つめるきっかけを与えてくれるように思います。

秋は、これからどんどん深まります。そして、もう間もなくお取り越しです。来年には教区改編がなされ、七月に新潟教区が発足しますから、三条別院お取り越し報恩講が、三条教区としてお勤まりになる最後の年となります。是非、僧俗共々に如来聖人の御前に額ずき御参詣賜りたく願います。一緒にお念仏申し、自分を掘り下げ深め、訪ねて参りましょう。(廣河)